



教_えてイイトコ_{宇都宮}

宇都宮

カクテルのバーテンダーを目指す 石坂唯さんに聞きました

HARUパイプのけむり (本町)



▲石坂さん(左)とオーナーの田代晴美さん(右)。「オーナーは、やさしくて面倒見がよく、でもすごかっことよくて、思わず背中を追い続けたいくなる女性。一步でも近づけるようになりたい」と、石坂さん目標の人です。
▶通勤経路の釜川が石坂さんに「宇都宮」を感じさせてくれる場所です。



皆さんもご存じ「カクテルの街 宇都宮」。私も、お酒が大好きだったので、宇都宮のバーによく通っていました。そのうち自分のオリジナルカクテルを作りたいと思うようになり、バーテンダーを目指して、昨年10月に、宇都宮に移り住みました。

宇都宮には素晴らしい先輩や同世代のライバルがたくさんいるので、腕を磨くにはとてもいい環境です。また、お客さんも舌の肥えた通な人が多く、「今日は調子いいね」とご指導いただくこともしばしば。厳しい意見もちゃんと言ってくれる面倒見がいい先生がたくさんいて、さすがカクテルの街だなと日々感じます。

これからも、大先輩たちを追いかけながら腕を磨き、「カクテルの街 宇都宮」を盛り上げていきたいです。

◎石坂さんは、5月8日(金) 正午～午後0時49分エフエム栃木「宇都宮プライド 愉快なラジオ」、5月10日(日) 午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「井上マーの教えてイイトコ宇都宮」(再放送)に出演します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

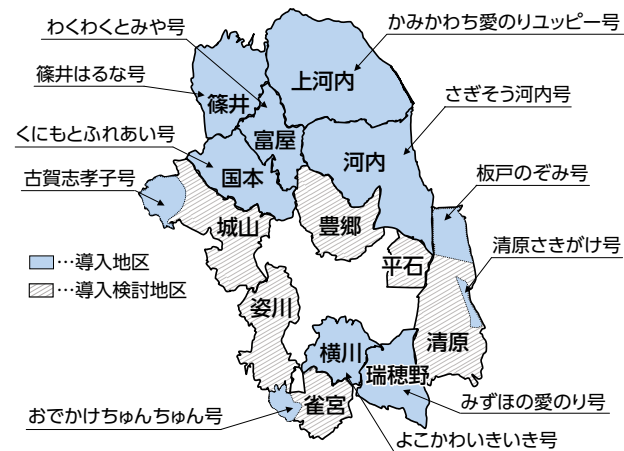
乗ってみよう 地域内交通

今回から、地域に最も身近な日常生活の足となる「地域内交通」について紹介していきます。

■「地域内交通」とは

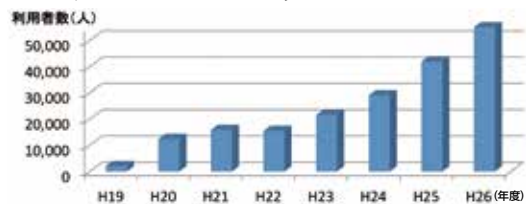
超高齢社会の到来に対応していくためには、公共交通の充実を図ることがとても重要です。本市では、郊外部のバスや鉄道での移動が困難な地域で、自家用車を運転できない人の移動手段を確保するため、タクシー車両などを活用した乗り合いの公共交通である「地域内交通」の導入を推進しています。

■「地域内交通」の導入状況



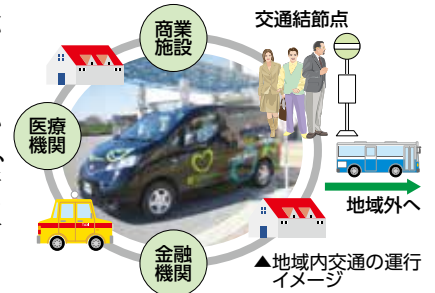
「地域内交通」は、自分たちで自らの交通を「つくり・まもり・育てる」という意識のもと、地域の運営組織が主体となって取り組んでいます。現在、郊外部の10地区で11路線が運行しています。

利用者も毎年増えています。平成26年度は5万5,201人が利用しています。利用者は、高齢者を中心に、大人から子どもまで幅広く、買い物や通院の他、趣味や娯楽のために利用する人もいて、気軽に外出するきっかけにもなっています。



■運行の範囲

地域の実情に応じて、地区内のスーパーや病院など、日常生活に必要な施設を回る他、路線バスの営業所や停留所、鉄道駅も目的地に設定されています。バスや鉄道に乗り継ぐことで、より広い範囲を移動することができます。



次回は、清原地区で運行している「清原さきがけ号」の取り組みについて紹介します。

交通政策課 ☎(632) 2132